

平成 24 年 9 月 25 日

津市総合計画審議会
会長 武田 保雄 様

白山地区地域審議会
会長 西 川 正 志

津市総合計画後期基本計画の策定に係る意見・提言について

現在、市で進めている平成 25 年度から平成 29 年度を計画期間とする津市総合計画後期基本計画の策定に係り、本審議会で今後の地域のめざすべき方向性等について協議を行い、以下のとおり、同計画の策定に当たっての当地域からの意見・提言をまとめましたので、同計画に係る津市長への答申においては、十分尊重していただきますようお願いいたします。

記

- 1 当地域がめざす姿として、次の目標を後期基本計画に明記されたい。

【目標】

①農業の振興について

白山地域は、雲出川や初瀬街道を中心に開けた農業を主とする中山間地域です。現在、サルやシカ等による農作物被害が急増し、その対策に苦慮している現状です。地域の経済的損失ばかりでなく、生産者の生産気力を衰退させ、耕作放棄地につながることを懸念しています。

このため、防護柵設置等への支援や個体調整、生息地の管理等を力強く推し進めるとともに、加害している動物は何か、被害の状況・対策はどうだったか、被害を受けている生産者の獣害に対する意識など現状を把握し、地域一丸となって獣害対策に取り組むことが必要です。

また、経営の安定化を図るため、特産物のブランド化等により付加価値を高める研究開発や、消費拡大ができるよう都市部への情報発信の支援策を拡充していただきたい。

さらに、用排水路や農道などの基盤整備を推進し、農地の保全・環境を守り農業の振興を図られたい。

②地域医療について

過疎化や高齢化が進行する現在、高齢者の健康づくりや外出支援など地

域の医療機関や団体等と連携しながら、健康で安心して暮らせる地域づくりが求められています。

幸いにも、当地域には県立一志病院があり、訪問診療、訪問看護、予防医療といった家庭医療を取り組まれています。医療機関が単独で担うのではなく、行政と地域住民の協力で進めることが不可欠です。

誰もが安心して暮らせる医療体制の確立に向けた取り組みを進められたい。

③地域資源の保存について

白山地域には、青山高原、東海自然歩道をはじめ、亀ヶ広、布引の滝、家城ラインなどの景観・景勝に優れた地や、初瀬街道並びにその宿場跡、白鷺伝説や古代から近世の史実に関する遺物や建物が多く保存されています。その魅力を発信し、集客の充実を図ることが必要です。

このため、既存の地域資源の保全はもちろん、さらなる資源の掘り起こしにより、きめ細やかに地域の魅力アップをするとともに、「語り部」の資質向上や案内標識等の施設整備が恒常的にできるような施策を進められたい。

こうした取り組みを進めることで、農業を守り、育てるとともに地域医療体制を確立することで、地域の住民が安心して住み続けられる地域であるとともに当地域の名所・旧跡を生かした魅力を発信することで多くの人が訪れるまちづくりを目指します。

2 地域課題については、次の点に留意されたい。

① 農作物の獣害被害については、すでに対策を講じていただいている部分もありますが、地域全体を挙げた抜本的な獣害対策を進められたい。

また、農地や農道、水路及び農村の環境を守るために、地域における住民ぐるみの取り組みを支援していただきたい。

② 地域医療については、疾病の予防や健康の維持、増進のための活動を医療機関と行政が連携して進められたい。

③ 地域資源の保存については、特に景観の維持管理を進め、地域活性化につながるよう取り組まれたい。

3 地域かがやきプログラムについては、次の施策を掲げられたい。

(事業)

① 温泉を活用した健康づくり&ふれあいづくり事業（ふれ愛フェスタ事

業)

- ② 初瀬街道活性化事業（初瀬街道周辺ウォーキング事業）
- ③ 歴史・文化巡り今昔“街道”ウォーキング事業
- ④ 美しい河川環境づくり事業（亀ヶ広の桜保全事業・家城ライン景観保全事業）
- ⑤ 特産物のブランド化の推進

上記の事業について、一過性の取り組みとならないような地域コミュニティの活性化に資する施策をするとともに、情報媒体を積極的に活用し、総合的な情報発信が図れる施策を推進されたい。